

11月14日(日)開催 (東葛城校区)

番号	ご意見ご質問用紙記載内容(原文のまま記載)	教育委員会の回答・考え方
1	<p>この方針はもう覆ることはないのでしょうか？ この地域に来た1つの理由として自然豊かな環境の中で少人数で学校に通わせられるからです。この選択肢が残っていてもいいのではないのでしょうか？ 少人数でも社会性は身につきます。少人数の中でどう折り合いをつけるのかを学び成長しています。この環境を存続して欲しいです。 はじめから小規模特認校を想定するにあたって廃校になるかもしれないというのはわかっていたはずなのにおかしいです。この学校のために引越して来た人もいてるんです。 それと、コロナ以前からこの話しはあったと思うのですがこのような環境が今後もあると思うのですがわざわざ集約することで感染拡大することになるのではないのでしょうか？こんな機会だからこそ見直しが必要ではないのでしょうか？多数の学校からもう少し分散していく方向を考えても良いのではないのでしょうか？</p>	<p>①現在は実施計画（案）の段階であり、今後も地域・保護者の皆様には十分な説明と話し合いを重ね、より良い計画の策定に努めていきます。 ②少人数を望む保護者のニーズを受け入れるためにも、小規模校を残すという選択肢があってもいいのではというご意見について、岸和田市の子どもたちに、将来にわたってより良い教育環境、教育内容を保障していく上で、小規模校のメリットよりも、説明会でご説明した適正規模・適正配置の必要性の方が大きいと判断し、今回の計画案をお示ししたものです。なお、少人数での学習指導が必要な児童・生徒に対しては、それぞれの状況に合わせて、丁寧に対応してまいります。 ③小規模特認校制度については、異学年が同じ学級で学ぶ複式学級を避ける方途として導入しましたが、今後も小規模化が進むことから、その後策定した基本方針に基づき、今回の実施計画案をお示ししたものです。 ④新型コロナウイルス感染症について、1校及び1学級当たりの児童生徒数の多寡と、感染リスクの関連性については明らかにされておりません。国からは、学級規模や学校規模に関する感染対策としての特段の考え方は示されておりませんが、感染症対策と小・中学校の適正規模・適正配置の取組を結び付けることは妥当ではないと考えます。新型コロナウイルス感染症の感染対策については、学校の規模に関わらず、すべての学校において、3密回避の徹底をはじめ、国や府のガイドラインに基づき適切に対応しています。</p>
2	<p>市や、国が好しいと言っている12～18学級にこだわらず、大規模、中規模、小規模といった多様性があった方がいいのではないかと思います。 少ないからこそ、他学年との交流もあり、心の成長にも役立っていると思います。 学力のことだけでなく、人として大事なことを学べることも大事だと思います。 東葛城小学校をなくしたくないです。 具体的な方策案を固めてからもう一度説明会してください。 だったらいいなでは話になりません</p>	<p>①学校規模の多様性があった方がいいのではないかというご意見についてはNo.1～②の回答のとおりです。 ②具体的な方策案を固めてからもう一度説明会をというご意見について、今回お示している実施計画（案）は、教育委員会が市域全体、市民全体の教育や利益の向上、及び、これからの市の教育のあり方等を十分に見極め、公正・中立な立場から取りまとめた具体的な計画案です。お示しいただいた「具体的な方策案」が、スクールバスや校舎のレイアウトなどをさすのであれば、（仮称）学校開校準備委員会で、地域や保護者等の皆様とともに決定していくべきものと考えております。</p>

11月14日(日)開催 (東葛城校区)

番号	ご意見ご質問用紙記載内容(原文のまま記載)	教育委員会の回答・考え方
3	<p>小中一貫校については反対です。2～3学級にすれば確かな学力がつくと考えていましたが、東葛城小は学力が高いと思います。それは、少人数でしっかりと学力がついているからだと思います。</p> <p>2つ目に、この地域に小学校がなくなると、まちがいなく何十年後には、若い世代がこの地域にすまなくなり、どんどん少子化がすすみ地域が衰退していくと思います。</p>	<p>①小中一貫校を含む小中一貫教育については、文部科学省において実施の際の手引が示され、既に多くの自治体で導入されており、効果検証も行われています。文部科学省の調査では、H26年とH29年の調査ともに、導入済みの自治体のうち、95%を超える割合で大きな成果が認められる、または成果が認められるとの回答があり、教育的効果が期待できると考えています。今後も、先進自治体の好事例を多く視察・研究するとともに、「岸和田市小中一貫教育推進会議」においても必要な対応について引き続き検討します。なお、適正規模・適正配置は、子どもたちがこれからの社会で、しっかりと生きる力を育むために取り組むものであり、小中一貫教育の取組とともに、幅広い学力を身につけるために必要と考えています。</p> <p>②地域が衰退するというご意見について、子どもたちが地域に活気をもたらしてくれること、これからの岸和田の発展のためには、子育て世代に選択してもらい、住んでもらうことが必要であることは、多くが賛同するところだと考えます。確かな学力の定着・向上を図るための教育の充実や、児童生徒の集団規模が確保された環境の整備、老朽化した校舎の改築・改修など、魅力ある学校づくりを進めることで、子育て世代に岸和田を選択してもらえることにつながると考えており、そのためにも、今回の小・中学校の適正規模・適正配置の取組を行うものです。</p>
4	<p>今日は説明会を開いて下さり、ありがとうございました。</p> <p>他市では小中一貫が進んでますので、いつかは岸和田市もなるとは思っています。</p> <p>ただ、この地区となると、学校までのキョリ、友達との別れ（地区で学校が分かれる）、そしてこの地区の過ソ化ですね。デメリット、メリット含め、話し合いが必要だと、今回感じました。</p> <p>私は地元ではないですが、他にないこの地区の状況が好きです。お互いゆずり合いながら、良い方向へと迎うことを願います。</p> <p>☆地区の説明会なので駐車場はない、とおっしゃいましたが、元々、バスなどで通うお子さんもいる地区です（特認でなくても）。</p> <p>運動場におかせてもらうなど、できないですか？</p> <p>今日はゲートボールしてましたけどねー。それでこれない人もいたみたいでした。</p>	<p>①通学距離や地域への影響等、地域・保護者の皆さまが不安に思われる点については、十分な話し合いを行った上で、最適解を見出せるよう努めていきます。</p> <p>②東葛城校区は他の校区と比較して広範囲のため、駐車場の必要性は高いと言えますが、道路環境やスペースの確保などの課題があり、実現には至らなかったところです。</p>
5	<p>小人数の今の東葛城小学校は、とてもいい環境で、たくさんの親子さんが来たいと言っているのが私の周りでは居ます。現状児童の人数が毎年減っているとの事ですが、遠くから東葛城小学校に通える為に通学バス等の協力が必要です。<u>まずは特認として継続する為の努力をまずして頂きたいです。</u>多様性を認める上でも小中一貫に合意できません。</p> <p>小中一貫にするなら、それまでに子ども達がスムーズにとけこめる努力。通学、放課後の児童サービスetc充実させて頂きたいです。</p> <p>(下線部) →具体例をいくつか上げて、実際、特認校(東葛城)へ来たい方々に対して支援を充実させて下さい。必ず多数、来たい方々居るはず。東葛城小の存続を！！</p>	<p>現在、全校児童の3人に1人が特認児童という状況であり、複式学級を避けるという小規模特認校制度導入の効果があつたものと考えています。しかしながら、特認校制度によってしても、東葛城小学校の児童数が増え、適正規模が確保されることは見込めないとの判断から、今回の計画案をお示したものです。</p>

11月14日(日)開催 (東葛城校区)

番号	ご意見ご質問用紙記載内容(原文のまま記載)	教育委員会の回答・考え方
6	<p>小中一貫になると地域の方との交流がなくなると思うし少人数だから一人一人に頼りそっていているからいじめは少ないと…小中一緒になると年齢差があり心配。</p> <p>バス通に関しての説明について保護者の駐車場がないとは??</p> <p>廃校になった学校はどうなるのですか? 浜の方だと近隣スペースが狭いのでどうにかなりますが山の方は??</p>	<p>①小学生と中学生が共に学校生活を送ることに対する保護者の皆様の不安点については、他市の先進的な取組における好事例も参考にしつつ、活動スペースや動線を分けるなど、児童生徒が安心・安全に通い、学ぶことができる環境を整えます。</p> <p>②駐車場については、4-②回答のとおりです。</p> <p>③学校施設の跡地活用については、地域の方のご意見等も踏まえ、幅広い視点から、有効に活用される方策を検討していきます。</p>
7	<p>①少人数では社会性、協調性、コミュニケーション能力は身につけにくく大人数ではつきやすいのでしょうか? 少人数だからこそ、意見を言い、体験し、行事を子ども達で作り上げています。大人数ではできません</p> <p>②私自身の中学時代(葛城中)は荒れていて、エスケープ、暴力、破壊、タバコ、毎日辛かったです。そんな情景を幼少期から目にするとと思うとゾッとします。やめて下さい。これがより良い環境といえますか?</p>	<p>①小規模校ならではの取組や優位性があることは承知していますが、子どもたちには、成人するまで、また、成人した後も、限られた少人数の環境が保障されるものではありません。教育委員会としては、義務教育9年間の学校生活の中で、子どもたちが身に付けた力が、将来社会に出た時も、たくましく、生きる力につながるものが何よりも大切であると考えており、そのためには小・中学校の段階から、集団規模が確保された教育環境の下で、多くの友達をつくり、時には自分と違う多様な考え方に触れ、時には意見を闘わせながら、ともに協力して課題を解決していく力をつけることが大切であると考えます。</p> <p>②いずれの学校でも、児童生徒が安心・安全で快適に学校生活を送ることができるよう、児童・生徒への指導も含め、より良い教育環境を整備していきます。</p> <p>小中一貫校では、小学校低学年から中学生までが同じ施設で学ぶことにより、小学生は中学生を良き見本とし、中学生は小学生の世話をすることで、互いの自尊感情が高まっているとの例や、過去には荒れていると言われた校区においても、小中一貫校の開校以降は特に中学生が落ち着いたという事例が報告されています。</p>
8	<p>小学1年生の子どもが「違う小学校に行かないといけなくなるかも」と話すと、即答で「イヤだ」と言われました。今後、兄弟も3年後には小学生です。入学後に転校は子どもにとって大変負担だと感じました。その思いは受け取って頂きたい。</p> <p>【意見】</p> <p>スクールバスは必ずしてほしい。</p> <p>どちらの中学校に通学するかは選択制も含め、考えてもらいたい。</p>	<p>①再編に伴い、保護者の皆様が不安に思われる点については十分にお伺いし、その解消に努めていきます。</p> <p>②スクールバスについて、単に通学距離のみを基準とするのではなく、子どもたちの通学路の安全確保の状況や地理的条件など各地域の実情を踏まえ、他の地域との均衡にも配慮しながら、必要な場合はスクールバス等を導入します。</p> <p>③東葛城校区の児童の学校選択制については、今後、地域・保護者の皆様のご意見を踏まえた上で必要に応じ検討します。</p>
9	<p>①現葛城中・現山滝中→小中一貫校とするため校舎の改修等をされますが、生徒数は3倍に。グラウンドがふそくします。対策は?</p> <p>②小中一貫にするメリットより6才児に遠距離を強いるデメリットの方が、多いと考えます。</p>	<p>①校舎の改築・改修工事を行う際のレイアウト等については、(仮称)学校開校準備委員会におけるご意見も踏まえつつ、設計段階においてその内容を反映するなど、より安全で快適に過ごすことができるよう努めていきます。</p> <p>②小学校低学年の児童も安心で安全に通うことができる通学環境を最優先に考え、必要な対応を行います。</p>

11月14日(日)開催 (東葛城校区)

番号	ご意見ご質問用紙記載内容(原文のまま記載)	教育委員会の回答・考え方
10	<p>私の子供は2年間クラス20～30名の学校や通学したのち本人が学校を見学した上で本人で選んでこちらに転校してきました。</p> <p>本人の感想は前はいつも同じクラスの2、3名で学校でも遊びもかたまってたけど、東葛城小学校では学年をこえて誰とでも遊べて本当に楽しいし、グループで固まらなくても不安じゃないし誰とでも遊んでいいんだという感覚だそうです。親からみても自立したと思います。適正規模は思い込みじゃないですか？選択できる岸和田市であってほしいです。</p>	<p>(仮称)葛城小中一貫校と(仮称)山滝小中一貫校については、小学生と中学生の学び舎を一体的に整備することで、異学年間の交流行事を積極的に取り入れるとともに、特認校を検討することで、市全域の児童生徒が選択できる環境を整えていきます。なお、学校の適正規模については、文科省の考え方や、市の審議会からの答申、教職員・保護者・児童生徒を対象としたアンケート調査等の結果を踏まえ、小中学校ともに12学級～18学級としており、これは妥当な考え方であると認識しています。</p>
11	<p>なぜ葛城中学を分けて土生中学を造ったのか。</p> <p>生徒数が現在の様に少なくなることは判っていたのではないの？</p> <p>目先のことだけ考えているのでは。</p>	<p>土生中学校が開校する前年の平成4年度の葛城中学校の生徒数は1,280人、学級数は33という学校規模で、葛城中学校だけでは必要な教室数を確保することが困難であり、大規模化による教育環境への影響も懸念されたことから新たな学校を開校したものであり、必要な対応であったと考えております。</p>
12	<p>東葛城小学校は特認校制度を導入しています。導入する事を決定した時点で地域としては廃校、小学校の消滅には反対を意思決定したと考えています。その地域の総意を無視するのですか？</p> <p>又、特認校のデメリット、メリットの検証はされたのでしょうか？(特に保護者の声など)</p>	<p>東葛城小学校における、小規模校制度導入の経緯については、導入当時の児童数が、2つの学年を合わせても13人という状況であり、複式学級化が目前に迫っていたことから、その状況を回避すべく、地域と協議を重ね、平成29年12月に東葛城地区市民協議会から小規模特認校制度の導入に関する要望書の提出を受け、その導入を決定したものです。令和3年度は、全児童69人のうち特認制度を利用する児童が23人と、3人に1人が特認児童という状況であり、複式学級は現在も生じていないことから、制度導入による効果はあったものと検証しています。一方、今回の取組は特認校制度の是非を問題とするものではありません。岸和田市の子どもたちに、将来にわたってより良い教育環境、教育内容を保障していく上で、小規模校のメリットよりも、説明会でご説明した適正規模・適正配置の必要性の方が大きいと判断し、今回の計画案をお示ししたものです。</p>
13	<p>特色のある地域の為、特認校として他地域から来られている方は切り捨てるのか？環境等が良いから選んで来てくれるのに、一貫校で特認校化する意味はない！！</p> <p>人数が多い学校の問題が解消されていない中で、統合して人数が増えた学校に通うのは不安しかない。</p>	<p>新たな学校の開校時期については、(仮称)学校開校準備委員会の設置後5年程度を目安としており、現在特認校制度を利用して通学している児童は、卒業まで通っていただけるものと考えています。次年度以降の児童募集の際は、本実施計画(案)の進捗状況も踏まえつつ、適切な説明に努めていきます。</p> <p>再編に伴い、保護者の皆様が不安に思う点については十分にお伺いし、その解消に努めていきます。</p>
14	<p>葛城中学校区の幼稚園はどうなるのか？</p> <p>認定こども園については一部の人の利権が絡んでいるように思えてならない。</p>	<p>市立幼稚園及び保育所については、「岸和田市立幼稚園及び保育所再編方針【改訂】」に基づき、再編の取組を進めています。「岸和田市立幼稚園及び保育所再編計画【前期計画】」(案)の中では、葛城中学校区にある就学前施設を再編し、民間事業者による認定こども園を開設する方向性が示されています。具体的な内容については、今後の児童数、待機児童数、民間施設の整備状況等を踏まえつつ、【中期計画】以降でお示ししていきます。</p> <p>なお、民間事業者の選定にあたっては、公平性や透明性の確保、また、専門的な知見が必要なことから、教育・保育に見識のある者、民間事業者の経理に見識ある者等といった外部有識者で構成される「岸和田市幼保連携型認定こども園設置運営事業者選定等委員会」を設置し、同委員会での審査結果を踏まえ、市が設置・運営主体となる民間事業者を決定します。</p>

11月14日(日)開催（東葛城校区）

番号	ご意見ご質問用紙記載内容(原文のまま記載)	教育委員会の回答・考え方
15	<p>学力の話ですが、特認児童の親です。前の学校で事情があって1～6時間目までほぼ2年間廊下に座っていました。そこで見ていた実感ですが、校区の学校は学力どころではありません。</p> <p>その点、東葛はしっかり授業をし、テスト直しも1人1人見てあげることができています。</p> <p>授業ができていない所、できていない所、宿題を見てあげられる所、チェックだけの所、学力に差が出るのは当たり前前と思うのですが、少人数、多人数で学力に関係はない、というご説明でしたがなぜそう思われるのか教えて頂きたいです。</p>	<p>児童生徒一人一人に目が行き届き、きめ細やかな学習指導が行いやすいといったメリットについては、学校全体の児童数の多い少ない（学校規模）ではなく、実際に日々の授業が行われる1クラス当たりの児童数の多い少ない（学級規模）の影響を大きく受けるものと考えます。教育委員会としても「学級規模」の少人数化は、よりきめ細やかな教育指導が実施され、高い学習効果が期待されることから、望ましいものと考えており、国や府に対して、その推進を働きかけているところです。</p> <p>一方、今回の適正規模・適正配置については、学年全体及び学校全体の集団規模（学校規模）の確保を目的として取組を進めています。</p> <p>なお、本市の全国学力・学習状況調査等による「学力」が、学校規模の大小と相関しているという傾向は確認されていません。</p>
16	<p>一貫校だとスクールバスの話が出来るのに特認だとすぐ話が出ないのか？</p> <p>5年間で話が進むと新1年生の入学が難しいですがどう考えてますか？</p> <p>小規模とかかけているので教育委員会の人数にはたっしないのですが、本当に小規模特認校への協力はして頂けますか？</p> <p>千早赤阪村のように、仮し家をする時に補助金などをしてほしいのですがどうですか？</p>	<p>①適正規模・適正配置の取組による学校の再編にあたっては、教育委員会が、当該校区の全ての児童・生徒に対して、通学する学校を定めるものであるため、通学距離が遠くなる場合は、他の校区との均衡も考慮しつつ、スクールバスの導入を検討するものです。一方、特認校制度については、本来通学する学校ではなく、児童・生徒や保護者の希望によって特認校に通学するものであることから、（仮称）葛城小中一貫校についても、現在の東葛城小学校と同様、保護者による送迎や、路線バスによる通学を想定しています。</p> <p>②新たな学校の開校時期については、（仮称）学校開校準備委員会の設置後5年程度を目安としており、現在特認校制度を利用して通学している児童は、卒業まで通っていただけるものと考えています。次年度以降の児童募集の際は、本実施計画（案）の進捗状況も踏まえつつ、適切な説明に努めます。</p> <p>再編が行われるまでの、東葛城小学校における小規模特認校の取組については、引き続き支援していきます。</p> <p>③家賃支援に関するご意見については担当課に伝えます。</p>
17	<p>小中一貫のかたちをとる上で児童・生徒にかかわる教員の数は減ると思います。これによって児童・生徒に対して目が行きとどかない事が考えられますが、その点についてはいかがお考えでしょうか。</p> <p>また中学と小学の子ども達と同じ場に集まるということで年齢の非常にはなれた児童・生徒間での生徒指導のありかたなども課題になるかとおもいます。</p>	<p>1校当たりの教職員については、国や府の基準に基づき、学校全体の学級数に応じて配置されます。小中一貫校についても、小・中両方の学級数に基づき、教職員が配置されるため、小中一貫校になると教職員の数が減るということはありません。小中一貫校においては、小学校中学校の教職員がともに協働し、児童生徒の発達を継続して見守ることができるといったメリットがあり、本市においてもそのメリットを最大限に活かした連続性・系統性のある、切れ目のないきめ細やかな教育指導をめざしていきます。また、小学生と中学生がともに学校生活を送ることにより心配される諸課題については、他市の取組による好事例を参考にするとともに、保護者の皆様のご意見も十分にお伺いし、児童生徒の安心・安全を最優先に考え必要な対応を行います。</p>

11月14日(日)開催 (東葛城校区)

番号	ご意見ご質問用紙記載内容(原文のまま記載)	教育委員会の回答・考え方
18	<p>生徒数の減少のことが多くおっしゃられています。岸和田市が子育てに魅力的な街であれば、子供も増えるはず。岸和田市の努力不足では？</p> <p>子供は成長過程で自分を見てほしい認めてほしいと強く思うものです。30人で1人の教師が見る環境、10人で1人の教師がみる環境、関係者の方、自分のお子さんを通わせるのであればどちらが良いと思われませんか？こういった環境のいい学校があることを、岸和田市はもっとアピールすべきだと思います。</p> <p>これからの未来を考えるなら子供の教育環境もっと大切にすべきです。</p>	<p>①これからの市や各地域の発展のためには、子育て世代に選択してもらい、住んでもらうことが必要です。そのためにも、確かな学力の定着・向上を図るために教育を充実することや、児童生徒の集団規模が確保された環境の整備、老朽化した校舎を改築・改修することが、魅力ある学校づくりを進める上で不可欠であり、そのためにも、適正規模・適正配置の取組は重要であると考えます。</p> <p>より良い教育環境の整備と学校教育の充実を図ることで、市全体の魅力づくりにつなげていきたいと考えています。</p> <p>②学級のさらなる少人数化の必要性は認識しており、国や府に対して30人学級の実現を要望しています。</p> <p>一方、グループに分かれての学習など、集団学習の必要性から、学級の人数が少なれば少ないほど良いというものではなく、また、本来は、住む地域に関わらず、市内のどこの学校であっても、一定の学級規模であることが求められると考えています。</p>
19	<p>話を聞いていても、規模適正化によって子どもたちのより良い教育が実現出来るとは一切感じなかった</p> <p>デメリットを聞いても距離が遠いけどしかいておらず、とうてい全てのデメリットを考えたとは考えにくい</p> <p>正直デメリットをまず今日のような説明会をよく開いたなと思いました。</p> <p>進める方がこのように浅はかだと反対せざるをえない</p> <p>今の教育委員会の考えでは、絶対的課題である少子化もかいかいけつできない</p>	<p>説明会の際は、課題として、通学距離・通学環境の変化や、地域コミュニティへの影響、小中一貫校においてはチャイム時間の違い等を例として挙げましたが、その他にも地域・保護者の皆様が不安に思う点について、今後も十分にお伺いし、その解消に向けて努めていきます。</p>